

新中学校の学校像（案）

1 新中学校が目指す教育

情報技術をはじめとする先端技術が急速に発展・浸透する Society5.0 の時代の中で、学校教育には、一人一人の子どもが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる資質能力を育成することが求められています。

そのため、勝山市においては、新中学校と勝山高等学校との連携型中高一貫教育を導入し、中高の生徒や教員が授業をはじめ様々な交流や活動することによる教育効果を生かして、これまで勝山市が進めてきた教育をさらに高みへと充実・発展させていきます。

令和の時代に子どもたちに身に付けさせたい資質能力を踏まえ、地域や社会の中で課題を見いだし、各教科等で学んだことを活用して主体的に考え、多様な他者と協働して最適解を生み出す活動などを通して、思考力、判断力、表現力などの能力を育成するとともに、豊かな情操や規範意識、自己肯定感や他者への思いやり、コミュニケーションを通じた人間関係を築く力、困難を乗り越えものごとを成し遂げる力などの育成を目指していきます。

2 学校づくりの基本理念 目指す学校像

・「新しい時代に生きる力を育む学校」

一人一人の学びを保障し、目標実現を目指した主体的な学びを支援する学校

・「夢や希望の実現を支援する学校」

個性や能力を伸ばし、興味関心に応じた将来の目標の設定や実現を支援する学校

・「ふるさと勝山への誇りと愛着を育む学校」

地域とつながり、豊富な体験活動を通じたふるさと勝山の学びを支援する学校

・「安全・安心で、保護者や地域から信頼される学校」

子どもが互いに認め合い尊重し合って、生き生きと学校生活を送ることを支援する学校

3 目指す生徒像 3つのC

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| (1) 何事にも挑戦し成長し続ける生徒 | Challenge |
| (2) 他者と協働し主体的に考え判断し行動する生徒 | Collaboration |
| (3) コミュニケーションを通じ互いを認め思いやる生徒 | Communication |

4 新中学校における特色ある教育内容

(1) 高校教員によるアシスト授業

- 中学 3 年次の数学や英語の授業に高校教員がティームティーチングで参加
 - ・特定の生徒対象ではなく、全クラスで実施
 - ・高校の学習に見通しが持てるよう興味関心を喚起する内容を中心に実施
 - ・生徒の理解度に応じ発展的な内容も指導
- 中高それぞれの学習指導の相互理解により、中高教員の指導力をさらに向上

(2) 探究的な学習

- 中学生の学習に高校生が助言したり、中高合同の発表会等を通じて学習内容を深化
- 高校の探究学習に触れることで、視野を拡げたり探究スキルを向上
- 勝山市や地域の活動に参画し、ふるさと学習を充実
- 中学生に指導助言することで、高校生の資質能力も向上

(3) キャリア教育

- 将来の進路選択に役立つ学習を進めるため、学校独自科目の設定を検討
- 生徒が興味関心に応じて主体的に調べ学習を進め、教員が支援
- 高校の教員をはじめ大学や民間企業、地域の方々など外部人材による授業も実施

(4) 学校行事・特別活動・部活動

- 中高生が語る会などを開催し、高校での学習や将来の夢や希望の実現に向けて意欲を向上
- 高校生の自主的な活動に触れ、中学生の主体性を向上
- 合同練習が可能な部活動では、高校レベルに触れてスキルを向上

(5) ICT機器の効果的活用

- プロジェクターを多数設置するなど校内のICT環境を整備
- 様々な活動でタブレットを積極的に活用し、プレゼンテーションや情報発信を推進
- オンラインによる国内外の学校との交流などを実施し、英語力を向上